

報告者：久木留 毅（文学部教授）

■ラフバラ大学研究拠点活動報告

No.12

9月1日(日)

■ 柔道田辺理事、Ian とランチミーティング

ラフバラ大学を活用した柔道の教育プログラム等についても意見交換。さらに、招致後の方向性等について Ian からアドバイスをもらった。



9月4日(水)

■ レスタータイガーストレーニング場視察等

レスターに拠点を置くラグビープロチーム・レスタータイガースのホームトレーニング場を視察した。コーチのジョルダンマーフィー（元主将）による案内で室内トレーニング場を視察した。各選手のプロ意識の高さとチーム側の意識の高さを垣間みることができた。



9月6日(金)

■ スポーツ政策プロジェクト UK Sport とのミーティング

ロンドンのUK Sport 事務所にて、メジャーイベントに関するヒアリングを実施した。メジャーイベントに関する新しい情報（公開情報）を得ることができた。

9月11日(水)—14日(土)

■ ヨーロッパスポーツマネジメント学会参加

イスタンブールで開催された第21回大会に参加。標記学会の状況確認と情報収集を実施した。新しいネットワーク構築としては、Sport Policy factors Leading to International Sporting Success” (SPLISS)の主要メンバーと情報交換を実施した。ただ、この学会における中心メンバーは、ラフバラ大学イアン・ヘンリー教授、バリー・フリーハン教授であることが改めて理解できた。



9月15日(日)

■ トライアスロン世界選手権グランドファイナル視察

VIP エリアへのアクセスを利用して視察を実施した。日本連盟会長のアテントも合わせて担当した。さらにコーチングスタッフらの活動を視察した。富川先生（商学部准教授）とも久しぶりに再会し、トライアスロン国際大会における本学の教員のサポート活動を間近で見ることができた。



報告者：久木留 毅（文学部教授）

9月17日(火)

■ ラグビートップチーム指導(今シーズン初)

大学トップチームにレスリングの基礎体カトレーニングおよび技術に関するコーチングを実施した。今後の事業展開の一つとして競技間連携をラフバラ大学側に認識させるには良い機会となった。



9月20日(金)21日(土)

■ ラフバラ大学オープンキャンパス

年二回ある内の一つ(7月、9月)であり、大学内を知るには有効な手段として活用できる。普段入れない場所、話せない人達から情報を得ることができる(スポーツ以外の分野)。

9月23日(日)―25日(水)

■ 文部科学省関係のプロジェクトサポート

23日、一行とラフバラ大学学長とのランチミーティング、スポーツ施設ツアー、スポーツバイオメカニクス研究所とのミーティングを実施した。

24日 Sport Technology Institute (STI) とのミーティング、Sport Development Center (SDC)、スポーツ系学部長、他とのミーティングを実施した。

9月25日(水)―28日(土)

■ 日本からの来訪者への対応(プライベート)

日本からの研究者とスポーツ医科学スタッフへの対応として、スポーツ施設案内、スポーツ関係者とのミーティングを実施した(英国柔道連盟、SDC スtrengh スコーチ、EIS パラリンピック担当者、クリケット連盟 TID 担当者)。

.....

■ まとめ

英国に来て6ヶ月、ラフバラ大学のスポーツにおける主要な関係者とのミーティングを設定できるまでになったことは大きな一歩であった。オリンピック・パラリンピック招致が成功したことを受け、日本のスポーツを大きく変えていくために微力ながら引き続き研究活動等を実施していきたい。